

第24期日本学術会議 健康・生活科学委員会（第2回）
議事録(概要版)

I 開催日時：2017年11月13日(月) 10:00~12:10

II 場所：日本学術会議 5-A(1)会議室

III 出欠

出席：秋葉澄伯、小川宣子、片田範子、熊谷日登美、小松浩子、
安村誠司、多久和典子

欠席者：神谷研二、寶金清博、宮地元彦、田辺新一

IV 議事：

1. 第1回健康・生活科学委員会議事録（案）の確認

出席委員全員より承認を得た。

2. 委員会の今後の活動について

下記について検討・決定した。

1) 委員会は年3回開催する。

2) 委員会主催によるシンポジウムの開催（各年次に2回開催を目途とする）

・シンポジウムのメインテーマは、23期に引き続き、「これからのいのちと健康と生活をまもる」とする。

・シンポジウムの目的は、健康・生活科学分野の英知を社会に広げていくこと（専門家のみならず市民に対しても）

・24期のシンポジウムは一定の成果を提言等により発出する。

・24期の一年次はすでに一回開催している（11月2日日本公衆衛生学会市民公開講座で実施：日本学術会議連続公開シンポジウム これからのいのちと健康と生活をまもる～第2回いのちをまもり健康を育む住まいを考える～）

・24期一年次の2回目シンポジウム企画案について

「食と生活」をテーマに、健康リスク、生活リズム、食育など）の切り口で考えることとなった。何が問題になっているかを俯瞰的に検討し、分科会に課題をつなげる。

○シンポジウム企画担当：熊谷、多久和 両委員

○開催時期：(予定) 8月末 食品科学工学会 公開シンポジウム 東北大学

3) 健康・生活科学委員会の開催予定

・2018年1-2月：シンポジウムの内容に関する検討

・2018年 春の総会会期中（4月3日（火）～5日（木）予定）

3. 新分科会の設置ならびに既設分科会における他委員会との連携について

・専門分科会を設置する際には複数の合同委員会による分科会か、委員構成を配慮した既存の分科会かは、活動内容を考慮した上で決定する。複数の委員会が担当する場合の主担当は委員会通しの話し合いで決め、健康・生活科学委員会に報告する。

4. その他ケアサイエンス分科会（仮称）の立ちあげについて

・ケアサイエンス分科会(仮称)については、立ち上げる方向性について承認した。

5. その他

・今後の委員会と分科会の審議過程について、下記のように取り決めた。

○委員長により議論が必要と考えたことに関しては正式な委員会を開催する。

○その他、分科会で開催することは委員長に連絡し、委員長が必要な事項について委員にメールをする。

以上 文責 小松